

平成26年度第4回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成26年11月27日（木）午後3時～5時

2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、松木副委員長、三好委員、大塚委員、長友委員、湊野委員、松浦委員

（事務局）

生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習部次長（事務取扱）青少年センター所長、生涯学習課長、郷土博物館長、市民スポーツ課長、運動公園スポーツ施設整備課長、高洲公民館長、中央公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館長、生涯学習係

4 傍聴人 0人

5 議題

（1）協議事項

- 1）社会教育関係団体の認定について（1件）
- 2）社会教育関係団体への支援のあり方について

（2）報告事項

- 1）平成26年度第17回市民手工芸作品展開催案内について
- 2）平成26年度うらやす文化市場3～きて！みて！体験～開催案内について
- 3）浦安スポーツフェア2014実施報告について
- 4）平成26年度浦安市公民館文化祭実施報告について
- 5）平成26年度上半期街頭補導実施状況及び青少年相談実施報告について

（3）その他

- 1）第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会参加報告
- 2）次回会議日程について

6 議事概要及び会議経過

（1）協議事項

- 1）社会教育関係団体の認定について（1件）

生涯学習課長より概要を説明し、アイJr.バレエサークルについての条件付きで認定を承認した。

委員からの主な質問及び意見は、次のとおり。

《アイJr.バレエサークル》

（委員） このサークルは公民館文化祭に参加しているのか。

（事務局） 公民館文化祭への参加実績はない。

（委員） 会則の中に「会員数は運営の都合上一定人数以下とし、新規入会については、役員会及び指導者との協議により決定する。」とある。広く会員を募集するという社会教育関係団体の趣旨からずれているのではないか。

（事務局） 確かに社会教育関係団体は、広く会員を募集することが求められるので、サークルに確認する。

- (委員) サークルの中には、お稽古教室のようなかたちで運営されているものがたまに見受けられるが、社会教育関係団体を認定するにあたりどのような判断をしているのか。
- (事務局) 社会教育関係団体を認定するにあたっての目安を示したガイドラインを定めているが、認定申請があった場合、このガイドラインに沿って判断をしている。
- (委員) 認定するにあたり、公民館文化祭や地域活動に参加しているなど、自分たちの中だけで完結するような活動ではなく、地域貢献活動をしているのかどうかの一つの判断基準になるのではないかと。
- (事務局) 社会教育関係団体に認定された団体は特に、公民館文化祭に参加するなど、かたちは様々あると思うが、地域に貢献する活動や自分たちの活動を地域に還元する活動が求められるものであると考えている。
- (委員長) 会則の会員募集に関すること、地域貢献に関する意見が出た。事務局より各委員からの意見をサークルに伝えていただき、会則については広く会員を募集するという趣旨に変更するという条件で承認とする。

2) 社会教育関係団体への支援のあり方について

- (委員長) 社会教育関係団体への支援のあり方について、今回の会議を含めて4回にわたって議論し、社会教育委員会として教育委員会に対して、提言もしくは建議というかたちで意見をまとめていきたいと考えている。今回の「理想の社会教育関係団体とは」というテーマで議論をしていく。

生涯学習係より概要を説明した。
委員からの意見は、次のとおり。

- (委員) 理想の団体とは、会員が講師として活動しているなど、地域貢献しており、常に開かれている団体であると思う。団体の中には、内向きに活動している団体もある。認定団体以外にも地域貢献している団体はたくさんある。そういった団体をきっちり評価する制度が必要である。
- (委員) 認定されている団体を調査したところ、その団体は公民館文化祭には発表者としては参加しないが、認定を受けたことで会長から会員に対して文化祭の運営を手伝うように呼びかけをしていた。また別の団体からは、認定を受けているので、もっと地域に貢献できる活動をしたいが、活動の場や機会がないという話があった。このような団体が認定団体の中にたくさんあると思う。そういった団体と学校など、需要があるところをうまく繋げていけば、良い循環が生まれていくのではないかと。
- (委員) 認定された当初は、地域貢献をしようという思いがある。活動が長くなるにつれて代表者や会員が替わっていくと、そういった思いが薄らいでいくのではないかと。
- (委員) 社会教育そのものや認定団体とはどのような団体であるかを理解して活動している団体が少ないように感じる。申請時に事務局から説明し、会員に理解をしてもらう必要がある。

- (委員) 社会教育の分野がとても広く、焦点が絞りづらい。認定団体として活動するうえで重要となるキーワード、例えば「地域貢献」など、いくつか要件を絞っていくとわかりやすくなるのではないかな。
- (委員) 社会教育活動は、主として青少年及び成人に対して行われる教育活動と定義される。教育的な側面を有した団体を認定するという考えを前提に考えていけば、もう少し明確になるのではないかな。
- (委員) 「教育」というキーワードははずせない。社会教育関係団体は、一種の教育機関として活動することが求められる。
- (委員) 対外的な教育活動でなくても、団体の中でお互いに学び教え合うというような活動も教育活動といえる。
- (委員長) 団体活動の中で、会員の中から指導者が生まれるというのが理想である。
- (委員) 青少年を対象とした活動に絞り込めばわかりやすい。こどもたちの活動を大人が支援するというかたちが社会教育活動の一つの理想形ではないかと思う。
- (委員長) これまでの意見の中で、認定団体の中には地域貢献活動をしたくても機会や場がないという話があった。このような団体に場や機会を提供するという取り組みが今後は必要になってくる。

(2) 報告事項

1) 平成26年度第17回市民手工芸作品展開催案内について

(委員長) 作品の審査をしないのは、何か意味があるのか。

(事務局) 市美術展と区別し、誰でも気軽に出品していただくことを目的としているためである。

2) 平成26年度うらやす文化市場3～きて！みて！体験～開催案内について

3) 浦安スポーツフェア2014実施報告について

4) 平成26年度浦安市公民館文化祭実施報告について

5) 平成26年度上半期街頭補導実施状況及び青少年相談実施報告について

(委員) 青少年相談の件数の推移はどのようになっているのか。

(事務局) 相談件数自体は減ってはいるが、相談に来られない、もしくは来る気力がない方が多くいる。悩みを抱えている方の総数が必ずしも減っているとは考えていない。

(3) その他

1) 第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会参加報告

(委員長) 新潟市の発表で、学校地域コーディネーターを週4日勤務で全学校に非常勤職員として配置しており、学校における問題を社会教育の力によって解決しているという事例があった。

2) 次回会議日程について

次回の会議は、平成27年2月19日(木)午後2時から中央図書館視聴覚室で開催を予定している。

以 上